『教養の生態学（2025 年 3 月 日本生態学会発行）』

2026.4.25　　仲山 富夫

生態系の現状：減少する生物多様性

40 億年前に地球上で生命が誕生して以来，生命は進化の過程でさまざまな形質を獲得し，多種多様な姿をした種の出現と絶滅を繰返してきました。

現在，地球上ではおよそ **213 万種**の生物が分類学的に記載（人類が認識し，学名がつけられる）されています。地球上に存在する生物種の全容は明らかとなっていませんが，最近の推計では **870 万種**（±130 万種）ともいわれています。

地球の歴史において，大規模な生物の絶滅は少なくとも 5 度発生していますが，現在，人類のさまざまな活動の影響によって，5 度の大量絶滅に匹敵するもしくはそれ以上の規模で，地球上の生物多様性が損なわれていることが報告されています。

多くの研究者が，現在の種の絶滅速度は，自然絶滅（人類が関わらない状況で起こる絶滅）の速度の 1000～10,000 倍以上であり，地球上の種の 0.01～0.1%が 1 年間に絶滅していると推計しています。

この生物多様性の喪失は，どこか遠くの場所で起こっているような他人事ではなく，日本国内でも生じている問題です。

地球規模で生物多様性の損失が起こる要因は何でしょうか？

国連の生物多様性条約事務局が発行する『地球規模生物多様性概況第 3 版』では，その主要な要因として **“ 生息地の損失と劣化・気候変動・汚染と栄養塩の蓄積・過剰利用と非持続可能な利用・侵略的外来種 ”** の五つをあげています。（抜粋しました）

＊とても理解が深まりました。

興味をお持ちの方はご連絡ください、お貸しいたします。

仲山富夫　　e-mail : hikarutomi2525@gmail.com